

「青年海外協力隊」

高橋 亜依さん

TAKAHASHI AI

経験を生かせる協力隊こそ進むべき道

「ハートとダイヤの代わりに、ピラミッドやラクダのデザインにしたらどうか？」

「ツタンカーメンもいんじゃない？」

「やっぱり外国人観光客には、エジプトらしいものが人気だよ」

エジプトの首都カイロの中で、歴史ある街並みが残るオールドカイロ。その一角に、現地NGO「ナフェザファウンデーション」が立ち上げた紙すき工房がある。地元の女性や耳に障害のある人々を雇用し、手すき紙を使った商品を作って売ることによって、彼

JICA Volunteer Story

PROFILE

1982年大阪府出身。2005年に大学卒業後、伝統工芸品の企画・販売会社に就職し、茶道具のデザインに携わる。2011年1月から青年海外協力隊(デザイン)としてエジプトで活動中。

「新しいアイデアで手すき紙を使った 新商品を生み出してほしい」

コストを抑えながらも、エジプトの魅力を伝えられるようなお土産を生み出したい！。首都カイロの紙すき工房で活動する青年海外協力隊員の高橋亜依さんは、日本でのデザインの経験を生かして商品開発に取り組んでいる。



紙すき工房のスタッフとの意見交換を通じて、新商品の企画を生み出していく

らの生計向上を支援するNGOだ。

「新商品を生み出すため、いつもスタッフと議論しながらアイデアを出し合っています」。そう話すのは、2011年1月からここで活動している青年海外協力隊(デザイン)の高橋亜依さんだ。

海外で働き、その土地の文化を肌で感じたい。学生時代からそんな夢を抱いていた高橋さん。大学ではデザインを学び、卒業後は伝統工芸品の企画・販売会社で茶道具の扇子やふくさのデザインを担当した。

そんな彼女の人生を変えたのは、ある社員との出会いだ。入社してきた協力隊経験者の話を聞き、それまで自分が挑戦できるわけがないと思っていた協力隊が身近に感じられるようになり、「派遣前の訓練所での生活、タイで手工芸隊員として活動した日々、そこで得たかけがえのない仲間」などの話も高橋さんの心を揺さぶった。「海外で働くという長年の夢が叶えられる協力隊こそ、進むべき道なのではと思ったのです」。自分の持つ力をすべて使って、無我夢中でがんばる時期があってもいい。そう思い、協力隊に挑戦することにした。

これまでの視点を変えて 新商品を開発

派遣先の紙すき工房では、主に農業廃材であるワラを原料にしたリサイクルペーパーを作っている。さらにその紙を使って、写真立てやカード、ランブシェードなど多種多様な商品を作り、市内で外国人が多く住む地域の雑貨店やギャラリー、書店、高級食材店、バザーなどで販売している。

以前この工房で活動していたシニア海外ボランティアが提案したカレンダーなどの商品も収入源とし



a.日本とエジプトの紙すき技術を組み合わせ、すいた紙を壁に貼り付けて天日干しをする
b.さまざまな柄や色がある手すき紙。これを利用した商品は30種類以上にも及ぶ
c.ワラを水につけて、煮るための作業場。ここで紙の原料へと生まれ変わる
d.高橋さんのアイデアから生まれた色とりどりのカットペーパー

て定着し、スタッフは懸命に制作に取り組んでいる。それと併せて高橋さんは、手間とコストを減らしつつも、さらに魅力的なお土産も開発できないかと考えたのだ。

そこで提案したのが「カットペーパー」だ。「他の商品を作った時に出る余りの紙を再利用できるのではないかと。9センチ四方にカットし、色とりどりの柄を50枚セットにしたシンプルなものが、メッセーじカードやコースターなど、好みに合わせて何にでも使えます」。小さくて軽く、持ち運びも簡単。外国人観光客へのお土産にぴったりだと考えたのだ。

しかし当初、スタッフからは「切っただけの商品なんて」という声が上がった。耳に障害のあるスタッフの一人は「私、これは好きじゃないわ」と。「手話では、好きじゃない」は両手で作ったハートを二つに割る動作。私の心も破れる思いでした」と高橋さん。しかし裏を返せば、それは「今までになかった」商品だから。JICAエジプト事務所や日本人が多く訪れるバザーで販売してみると、お客さんの反応は上々だった。当初はその反響に驚いていたスタッフも「この商品を欲しい人はたくさんいる！」と、今ではこの工房の定番のお土産となっている。

紙をちぎって作った花のブローチやピアスなど、そのほかにもさまざまな商品の企画を提案している高橋さん。「私がアイデアを出し、スタッフがアレンジを加えて商品化していく。それが軌道に乗った時はうれしいですね」と笑う。

活動期間は残り1カ月。いかにこの工房に自分の持っているものを残せるか。手すき紙の新しいデザイン案など、一つでも多くのアイデアを現地のスタッフに引き継げるよう奮闘している。